

# 片手で非接触 安心お手洗い

## 摂津の企業、市にホルダー寄贈



森山一正市長(右)にペーパーホルダーを渡した谷川幸広社長  
—摂津市役所

新型コロナウイルスの感染対策に協力したいとして、摂津市の部品製造業「アサヒ」の谷川幸広社長が、器材などに触らずに切断や交換ができる非接触タイプのトイレペーパーホルダー10台を、同市に寄贈した。

このトイレペーパーホルダーは、「東海樹脂加工」(三重県松阪市)が開発した「katateko(カタテコ)」。ホルダーの真ん中に穴が開いており、ホルダーに触ることなくトイレペーパーを巻きだすことができ、片手で簡単に切れるようになっている。交換の際にも、新しいトイレペーパーを下

から押し上げるだけで、ホルダーに触ることはなく、トイレでの新しい生活様式を具現化した商品と注目されている。

谷川社長によると、以前より交流があった東海樹脂加工を訪れる機会があり、その際にこの新商品を知って感激した。地元でも活用したいとの思いから、摂津市に寄贈を申し出た。

市役所を訪れた谷川社長は「新型コロナウイルスの感染拡大の防止に貢献したいと考えていた」と話し、森山一正市長にペーパーホルダーを手渡した。森山市長は「地元企業の協力に感謝している。ありがたく使わせていただく」と謝意を示した。市役所内の多目的トイレなどに設置していくとしている。